

科目	周産期の看護				
時間数	1単位 15時間	授業方法	講義	授業時期	2年
講師名	②伊藤好江 ②高橋美由紀 ③矢野美穂				
実務経験	②助産師(医療機関) ③看護師(医療機関)				
ねらい	周産期を中心として、母性看護を行ううえで必要とされる知識と技術を学ぶ 母性看護の特殊性を理解したうえで、対象が主体的に取り組んでいけるよう支援していくための看護の姿勢を学ぶ				
目標	1. 妊娠期の経過に応じた妊婦への看護を理解する 2. 不妊治療や妊娠期において検査・治療を受ける妊婦の看護を理解する 3. 分娩・産褥期の経過を理解し、それに応じた産婦・褥婦の看護を理解する 4. 新生児の看護を理解する				
授業計画					
回	内容				
1	出生前からのリプロダクティブヘルス				
2	妊娠期における看護① 身体的、心理的、社会的特性、妊婦と胎児のアセスメント				
3	妊娠期における看護② 妊婦と家族の看護、妊娠の異常と看護				
4	分娩期における看護① 分娩の要素と経過、産婦・胎児・家族のアセスメント、産婦と家族の看護				
5	分娩期における看護② 分娩期の看護の実際、分娩の異常と看護				
6	産褥期の看護① 産褥経過、褥婦のアセスメント				
7	新生児における看護 新生児の生理、新生児のアセスメント、新生児の看護				
8	産褥期の看護② 褥婦と家族の看護、産褥の異常と看護				
評価方法	その時間数の3分の2以上の出席者に限り受験資格を与える。 学科終講時に行う筆記試験 100%で評価する 60点以上を及第点とする。				
教科書	母性看護学(2)母性看護学各論:医学書院				